



2022年4月号

JA全農福島 肥料農薬部

技術情報だより

Vol.1

福島県内の発生状況

近年、福島県内の雑草イネ発生件数は、増加傾向にあります。平成30年までに発生が確認された市町村は8カ所でしたが、翌31年には、さらに3市町村が加わり、急拡大している状況です。(図1)
水路やコンバインの共有で簡単に広まる事から注意が必要です。

雑草イネは早期発見と徹底防除！

雑草イネはなぜ問題なのか

雑草イネも圃場の栄養分を吸収して生長する為、栽培稲と肥料分の競合がおこり、その結果、減収してしまいます。

また、雑草イネが収穫物に混入した場合、着色粒として扱われ、銘柄が付けられず、その他うるち米となったり、等級落ちの要因となり所得の減少につながります。

雑草イネの見分け方

こんな稲を
見たことがありますか？

①穂の様子が違う



ふ先に色がついている



②籾が落ちやすい



握るとほとんどの籾が落ちる

③背が高い



他の稲より背が高い

④籾・玄米の色が異なる



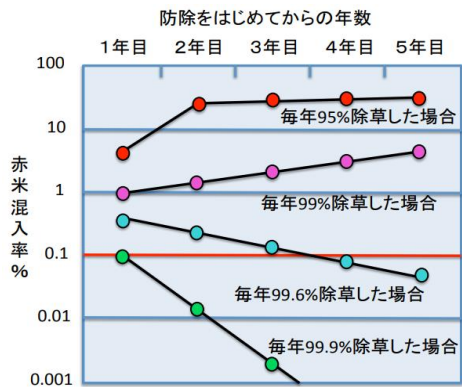
右：雑草イネ
左：コシヒカリ

防除のポイント

雑草イネは、栽培稲と同じ植物種です。そのため、栽培稲に安全性の高い水稲用除草剤の散布だけで、完全に防除する事は難しいでしょう。

そこで、基本的な薬剤防除の他に、耕種的防除も組み合わせ、実施する必要があります。幸い、雑草イネの種子の寿命は、土中で3年程度といわれており、比較的、短期間で防除の結果を出す事ができます。

但し、毎年、95%以上の除草を実施し、初めて減少に転じる事から、徹底して行う事が重要です。



雑草イネの種子が200粒/m²ある圃場における防除率と赤米混入率の予測
出典：中央農研

【耕種的防除】

①抜き取り
雑草イネをみついたら籾を落とさないよう注意し抜き取ります。

②機械除草

移植後、歩行型・乗用型除草機を用い、雑草イネを掻き取ります。

③不耕起

収穫後、地表面でこぼれ籾を越冬させ、乾燥と低温で死滅させます。

④遅植え・遅播き

雑草イネの出芽後に代かきを行う事で、埋土又は、枯殺させます。

⑤蒸気処理

高温の水蒸気で地表面の雑草種子を熱で死滅させます。



写真：蒸気処理の様子

薬剤防除は裏面をご覧ください

雑草イネに有効な薬剤防除について

収穫後・作付け前の防除

1.石灰窒素散布

稲刈り後に散布、または水稻播種前または移植前に散布し、地表面の雑草種子を防除します
※農薬登録をご確認の上、ご使用ください ※散布後、3週間程度は耕起しないようにしましょう
※石灰窒素には肥料効果があります。散布による窒素量を考慮し、施肥量を検討しましょう

2.非選択性除草剤散布

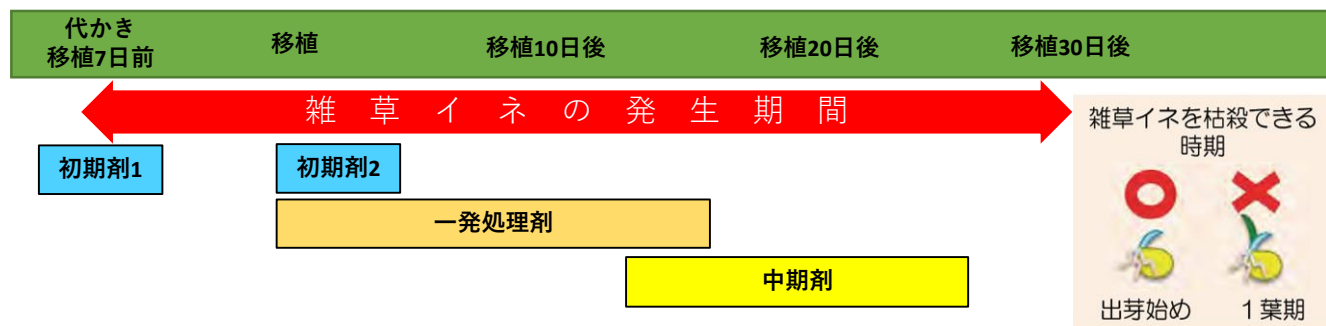
水稻用除草剤では、発生後の雑草イネを枯死させるのは困難です。そこで、非作付け期間に、すでに雑草イネが発生している場合は、非選択性除草剤を散布し枯死させます。

【おすすめ薬剤】ラウンドアップマックスロード、バスタ液剤、プリグロックスL
※農薬登録をご確認の上、ご使用ください

作付け後（栽培期間中）の防除

1.水稻用除草剤連続散布

雑草イネを防除できる生育ステージは、出芽始めです。1葉期になると枯殺できませんので、発生期間中、薬剤の残効を切らさず早め早めに除草剤を散布しましょう
なお、全ての除草剤が雑草イネに有効ではありません。雑草イネに効果の高い成分を選択しましょう



【おすすめ薬剤】 ※農薬登録をご確認の上、ご使用ください

初期剤1：	デルカット乳剤 エリジャン乳剤 ソルネット1キロ粒剤 メテオフロアブル メテオ1キロ粒剤	(植代時(移植4日前まで)) 土壌混和处理 (植代後～移植7日前まで) (植代後～移植7日前まで) (植代後～移植7日前まで) (植代後～移植7日前まで)
-------	--	---

初期剤2：	エリジャン乳剤 ソルネット1キロ粒剤 メテオフロアブル メテオ1キロ粒剤	(移植直後～ノビエ1葉期) (移植直後～ノビエ1葉期) (移植直後～ノビエ1葉期) (移植直後～ノビエ1葉期)
-------	---	--

一発処理剤：	キマリテ1キロ粒剤 シグナスフロアブル ベッカク1キロ粒剤 ベッカク豆つぶ250	(移植時、移植直後～ノビエ3葉期) (移植後1日～ノビエ3葉期) (移植時、移植直後～ノビエ3葉期) (移植後3日～ノビエ3葉期)
--------	---	--

中期剤：	ナイスミドル1キロ粒剤	(移植後14日～ノビエ4葉期)
------	-------------	-----------------